

週刊「中国・アジア」ダイジェスト

2011.08.08~08.19

記事の詳細は、情報検索サービス『キジサク』でご覧になれます

*記事は東京発行・最終版

CHINA

8月8日(月)

■トヨタ、中国で100万台突破
「カムリ」から5年で達成

トヨタ自動車は、中国合併の広汽トヨタ自動車の累計生産が100万台を突破した。2006年に中型セダン「カムリ」の生産を開始して以来、約5年で達成。現在は2ラインで年産能力36万台。(6面)

■大見工業、工具販売の合併
設備のセットアップまで対応

大見工業は、無錫市に工具販売の合併会社を設立した。8月末に営業を始める。工具販売のほか、治具の設計・製作から設備のセットアップまでのエンジニアリング機能を持たせる方針。(7面)

■中国版ミニブログ、日本参入
中国で1億4000万人ユーザー

中国版ミニブログ「新浪微博(シナ・ウェイボー)」が日本市場に参入。中国で1億4000万人のユーザーを抱える。日本企業・製品を中国市場にアピールするツールとして注目されている。(18面)

8月9日(火)

■ブリヂストン、大幅増産
天津5割増/無錫3割増

ブリヂストンは、天津市と無錫市にある乗用車用ラジアルタイヤ2工場の生産能力をそれぞれ増やす。天津が5割増の日産2万5300本、無錫が3割増の1万6300本。約240億円投資。(3面)

■ターボ部品物流、米社から受託
丸紅オート/中国から日本に

丸紅オートモーティブは、米自動車用ターボチャージャー(過給器)大手が中国から日本に調達するターボ部品の物流業務を請け負う。中国から調達する全



金相場上昇を見込んだ人が集まった中国・北京の貴金属店(ブルームバーク)

量。在庫や物流コスト削減。(5面)

■中国でコーティングガラス生産
日本板硝子/太陽電池基板用

日本板硝子は、中国で薄膜太陽電池基板用コーティングガラスを生産する。江蘇ビルキントンSYPに設備を導入、現地の太陽電池メーカーへのガラス基板供給能力を強化する。(10面)

8月10日(水)

■中国市場開拓で資本・業務提携
太洋工業・旭東電気/プリント基板

太洋工業と旭東電気は、資本・業務提携する。中国市場の攻略と顧客拡大を狙う。太洋はフレキシブルプリント基板(FPC)に関する部品加工を旭東に委託して中国市場に投入する。(7面)

8月11日(木)

■住宅メーカー、現地化
中国・東南ア/住宅工場新設など

住宅メーカーが、中国や東南アジアでモノづくりを現地化。現地に住宅工場を設けたり施工・メンテナンス体制を整備する。積水化学工業は2012年にタイに戸建て住宅の量産工場。(1面)



高級分譲地「東方豪園」の建設現場(上海市郊外=11日付)

8月12日(金)

■日中で共同提案
ASEANと連携/3分野自由化など

日本と中国は12日からインドネシアで開かれるASEANなどとの経済関連連合会で、貿易、投資、サービスの3分野の自由化と経済連携を検討する作業部会の新設を呼びかける。(1面)

8月16日(火)

■「上海環球金融中心」一部売却
森ビル/宝鋼集団の金融子会社に

中国紙・第一財經日報によると、森ビルは上海の「上海環球金融中心」の3フ

将来は岸壁用クレーンも委託。(7面)

■ベトナムの原発、予定通り推進
日本原発/敦賀3・4号機を新設

日本原子力発電は、敦賀発電所3、4号機の新設を予定通り進めるとあらためて表明。また、ベトナム電力公社と締結した「原子力発電導入に関する協力協定」も遅滞なく進める。(11面)

■フォルム、韓・中に営業拠点
プラ容器/デザイン

フォルムは、韓国と中国に相次いで営業拠点を開設した。プラスチック製容器など工業製品のデザインを手がけており、現地でもデザインや設計業務を完結できる体制を構築。(21面)

8月10日(水)

■環境改善手法、アジア導入支援
13カ国招き指導/経産省

経済産業省とアジア生産性機構は、日本の産業界が確立した環境改善手法のマテリアルフローコスト会計をアジアに普及させる事業を始める。12、13カ国の企業関係者を日本に招き指導。(1面)



マレーシアをモデルに指導者を派遣(2010年度)

■ヤマハ発、印・越50万台増産
インド100万台/ベトナム150万台

ヤマハ発動機は、2013年をめぐにインドとベトナムの両工場で2輪車の年産能力を各50万台引き上げる。増強後の年産能力はインドが100万台、ベトナムが150万台。販売店を増やし拡販。(3面)

■バングラデシュでSUV生産
三菱自/パジェロスポーツ年500台

三菱自動車は、8月からバングラデシュでSUV「パジェロスポーツ」の生産を始めた。タイ工場から主要部品を出荷し、提携しているPIEで組み立て、販売。年産500台。(5面)

■インドネシアに車部品パーク
豊田通商/トヨタ系20社

豊田通商は、インドネシアのジャカルタ市郊外に、自動車部品メーカー向けテ

ロア(57—59階)を、中国鉄鋼大手・宝鋼集団の金融子会社に売却した。約104億円に上るとみられる。(時事=3面)

■NTTデータ、受託を拡大
長春に拠点開設/データ入力

NTTデータは、中国での日系企業向け業務受託事業を拡大する。無錫NTTデータの拠点を長春市内に開設、2012年にデータの入力サービスを始める。製造業や通信事業者などを開拓。(5面)

8月17日(水)

■扇風機・乾電池の輸入が急増
前年度2倍/ジェット口まとめ

中国から防災や節電関連製品の輸入が急増。1—6月期、扇風機は前年同期比1.9倍の1438万台に。懐中電灯は2.2倍の4430万個。乾電池は1.8倍の4億4395万個。ジェット口まとめ。(2面)

■780億円の融資枠
中国の鉄道車両大手・中国北車

上海紙・東方早報によると、上海証取に上場する中国の鉄道車両大手、中国北車は、民生銀行から65億円(約780億円)の融資枠を新たに獲得した。資金調達懸念を否定する狙い。(時事=2面)

■東洋電機製造、北京に子会社
交通・産業事業を拡大

東洋電機製造は、北京に子会社「洋電貿易」を9月に設立する。鉄道車両用や一般産業用の電機部品販売や輸出入業務を手がける。売り上げが伸びている中国市場での交通・産業事業を拡大。(3面)

8月18日(木)

■LNGターミナル、中国で受注
IHI/3社共同150億円

IHIは、海南省の中海石油海南ガスから液化天然ガス(LNG)受け入れターミナルの設計・調達・建設業務を受注した。台湾CTCI、中国・五環設計院との3社共同。総額約150億円。(4面)

クノパークを2012年6月に設置する。すでにトヨタ自動車系を中心に4社が入居予定で、将来は15—20社に。(5面)

■染色、インドネシア移管
東海染工/国内はインクジェット印刷

東海染工は国内外のプリント加工事業を再編する。国内工場に服地向けインクジェット印刷機を5台導入。半分を染色から多色印刷に。量産品はインドネシア工場に大半を移管する。(9面)

■タイで金型補修
ファインウエルド豊和/車部品向け

ファインウエルド豊和は、9月からタイ・バンコクで金型補修の工場を稼働、自動車部品などの金型補修事業に乗り出す。日系自動車関連メーカーの増産需要。月間約10個。(17面)

8月11日(木)

■ドコモ、ベトナム企業に出資
コンテンツ配信のノウハウ提供

NTTドコモは、ベトナムのコンテンツ事業者VMGの発行済み株式約25%を取得。ベトナム企業への出資は初めて。ベトナムでドコモが国内外で培ったコンテンツ配信のノウハウを提供。(3面)

■タイで高性能洗浄剤
三洋化成/H D製造用

三洋化成工業は、タイの子会社でクラス1000のクリーン設備を新設しハードディスク(HD)製造工程用の高性能洗浄剤を生産する。東南アジアに集積するHD関連メーカー向けに安定供給。(7面)

8月12日(金)

■「クールジャパン」8カ国で展開
政府支援事業/アニメなど12事業

経済産業省は、「クールジャパン」として産業化、海外展開するための初の政府支援事業を発表。インドや中国など8カ国で地域産品や食品、生活雑貨、アニメやファッションなど12事業。(3面)

8月16日(火)

■旭化学工業、タイで樹脂部品
電動工具・車部品向け

旭化学工業は、タイ・ラヨーン県に電動工具と自動車部品向け樹脂部品の生産子会社を設立した。新工場を建設し、2012年7月稼働。タイの日系電動工具メーカーなどの増産に対応する。(4面)

■伯東、マレーシアに事務所
半導体デバイス・電気部品

伯東は、マレーシアのクアラルンプールに駐在員事務所を開設した。半導体デバイスや電気部品の供給で、現地に進出

■マイクロクラッチ、東莞に集約
シンフォニア・テクノ

シンフォニア・テクノロジーは、電磁クラッチ・ブレーキ生産を再編。OA機器のマイクロクラッチを東莞に集約。成長が見込める自動車ドア用クラッチは日本国内に移し規模を拡大。(5面)

■高級冷蔵庫、中国に投入
東芝ホームアプライアンス

東芝ホームアプライアンスは、中国での冷蔵庫事業を高級機主体に転換する。低価格品で現地メーカーに対抗するのは難しいため、大容量タイプの現地ニーズを取り込むことにした。(5面)

■未公開企業に投資
みずほ証券/中国・香港・台湾

みずほ証券は、中国大手総合証券の招商証券と共同で、中国および香港、台湾を含めた「グレーターチャイナ」圏の有望な未公開企業に投資するプライベート・エクイティファンドを組成。(11面)

8月19日(金)

■クボタ、海外生産50%超
農機・建機/中・米生産前倒し

クボタは、2013年3月期にも、農業機械や建設機械など機械部門の海外生産比率を50%以上(現在約30%)に高める。まず、米国と中国で農業用トラクターの現地生産に乗り出す。(4面)

■PPコンパウンドの製販会社
住友化学/年産2万tの新工場

住友化学は、中国樹脂メーカーの吉林省新東泰工程塑料との折半出資で、自動車向けポリプロピレン(PP)コンパウンドの製造販売会社を設立した。長春市近郊に年産2万tの新工場。(6面)

■塩野義、中国製薬株を取得
TOB/約143億円

塩野義製薬は、中国製薬会社のC&Oファーマシューティカル・テクノロジーの株式を17日付で取得した。今後シンガポール証券取引所で子会社化に向けTOB。取得価額総額は約143億円。(7面)

TELOP

■広東の嶺澳原発2号機を商業運転
広東核電集団(時事=9日11面)

■上海にノート工場
コクヨ/来夏稼働(9日15面)

■フォークリフトアーム工場開所式
トヨシマ(10日17面)

●ひと……………
三つの面子

「中国人は、人間関係作りで三つの面子を使い分けている」と『中国人の面子』を上梓した吉村章さん。「人間関係を広げる時に見せるのが『綱面子』、深める時に使うのが『貸し面子』、本当にいい関係になった時に、安定させるために使うのが『義の面子』だ」。(8日=21面)

100年の計

「中国進出は遺言みたいなものだった」と打ち明けるのは、西島社長の西島篤師さん。今春、上海市に工作機械の販売会社を設立。「遺言」をしたのは、西島さんの父。中国は生産が追いつかないほど好調だが、目先の利益よりも「100年の計で交流を深めたい」。(9日=7面)

なじみの店

「中国の店舗をもっと増やしたい」と千趣会専務の田川喜一さん。衣類・雑貨の通信販売が主力だが、2009年から中国でも店舗展開。「消費者になじみの店が多く安心感がある」のがショッピングモール出店の理由。上海周辺を目指す。(10日=9面)

■FPD検査装置、韓国に工場
日本マイクロニクス

日本マイクロニクスは韓国の大手電子メーカーへのサービス体制を強化するため、韓国にフラット・パネル・ディスプレイ(FPD)検査装置の製造工場を新設する。2012年1月稼働。(5面)

8月19日(金)

■新型「スイフト」、インドで発売
スズキ/ハッチバック首位維持

スズキは、新型「スイフト」をインド国内で発売した。マネサール工場で生産する。現地で競争が激化する高級ハッチバック車の市場トップ維持を目指す。25万台以上の販売を狙う。(4面)

■みずほ銀、インドネシア社買収
自動車ローン/アジアで初の個人向け

みずほ銀行は、10月をめぐにインドネシアの自動車ローン会社「バリモア・ファイナンス」を買収する。約40億円。同行がアジアで個人向け金融事業に参入するのは初めて。(9面)

■インドネシアで生保
三井住友海上/中間層狙う

三井住友海上火災保険は、インドネシアでの合併生命保険事業会社「シナールマSMSIG生命」を開業した。中間層への保証性商品の販売を増やし、海外事業の拡大につなげる。(9面)

■タイで鋳物バリ取り機生産
コヤマ/東南ア・中国向け

コヤマは、タイのスラナリ工業団地で鋳物バリ取り機の生産を始めた。東南アジアで鋳造品のバリ取りの自動化ニーズが高まり、アフターサービスまで対応する。中国にも輸出。(18面)

TELOP

■タイ輸送会社を子会社化
トナミHD(8日13面)

■「GALAXYTab10.1」に搭載
米コーニング/保護ガラス(9日10面)

■モンゴルと貿易・経済協力を促進
関経連(9日23面)

■住友重機、新興国で攻勢
減速機/海外60%(10日6面)

■マレーシア工場、50%増床
アイダエンジ(10日6面)

■シンガポールに拠点
WDB/人材紹介事業(11日3面)

■名大、台湾に同窓会支部
10番目の支部設立(11日15面)

■印社の化粧板事業を買収
アイカ工業(12日7面)

ASIA

8月8日(月)

■インド社に日本式技術導入
ダイフク/物流システム

ダイフクは、インドの生産関連会社であるウェブ・インディアに、日本式生産技術を導入する。早ければ2013年に、同社でダイフクブランドの物流システム生産に乗り出す。(5面)

■明和eテック、タイで生産
自動車生産ライン装置/日系向け

明和eテックは、9月をめぐに、タイで自動車生産ライン関連装置の製造に乗り出す。生産関連設備の現地調達を進める日系自動車メーカーや部品メーカーの現地工場に供給する。(6面)

■曙ブレーキ、越で2輪車の部品
インドネシア社と共同/ヤマハ発向け

曙ブレーキ工業は、インドネシアのアストラ・グループと組み、ベトナムでブレーキ部品を生産する。2012年度から2輪車用の部品生産。ヤマハ発動機のベトナム工場に納める。(6面)

■韓国に2製造合併
JX日鉱日石エネ/ベースオイルなど

JX日鉱日石エネルギーは、韓国石油会社のSKグループと製造合併2社を設立する。パラキシレン製造合併は世界最大規模の年100万トン。潤滑油ベースオイル製造合併は年135万トン。(12面)

■フィリピンの経済特区に注目
優遇税制・部品調達に魅力

フィリピンの経済特区(PEZA)の税制優遇措置が注目されている。生産した製品の70%を輸出する企業の場合、部品の輸入関税と12%の付加価値税が免除。最長8年間、法人税も免税。(18面)

